ForumK

http://keitaro-ohno.com

2018年特集号

衆議院議員

大野敬太郎

発行者:自民党香川県第三選挙区支部
観音寺事務所
〒768-0022 香川県観音寺市本大町1797-2
TEL:0875-23-1231 FAX:0875-25-9539
e-mail: kanonji@keitaro-ohno.com

丸亀事務所
〒763-0082 香川県丸亀市土器町東1-129-2
TEL:0877-21-7711 FAX:0877-21-7701
e-mail: marugame@keitaro-ohno.com

東京事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1211号
TEL:03-3508-7132 FAX:03-3502-5870

衆議院財務金融委員会にて安倍晋三総理、麻生太郎財務大臣に陪席し、所管事項について答弁する大野支部長

安全と安心の構築に向けて

今年前半の通常国会は、去年に引き続き森友・加計で終始した。経済財政、社会保障、こども子育て、働き方、生産性向上、地方創生、人口減少対策。為すべき課題が山積している中で審議が偏重しすぎている。国会の審議の在り方を見直すべきだ。一方で、トランプ大統領と金正恩による米朝首脳会談があった。断続的に交渉は続いているが、先行きは不透明だ。また中国は極めて重要な隣国で友好関係を保つべき国だが、習近平国家主席が標榜する一帯一路構想や強軍思想の意図や手段などが、既存の国際秩序やルールに合致しない部分が見られ、国際社会から大いなる懸念が示されている。外交力を強化するべきだ。大野支部長にそうした課題について聞いた。

■聞き手＝激動の時期ですね。

大野支部長＝今年前半は、防衛大綱や中期防といった次期戦略文書の準備作業として様々な議論を行っていた中で、北朝鮮事案、日報問題、佐賀県ヘリ墜落事故、そしてオスプレイやイージスアショアなどの装備品の配備、また西日本豪雨災害での対応など、落ち着く余裕の無い大きなプレッシャーの連続でした。ただ、いつもそうですが、地元の漁師や農家、商店や生涯スポーツでお目にかかる皆さんの笑顔を思い出すと、自然と元気になるんです。地元を持つという意味を噛み締めています。

■聞き手＝通常国会を振り返って今何を感じていますか？

大野＝森友・加計に明け暮れた国会を見て、政治改革の必要性を感じない議員はいないと思います。与党は政策を進めようとする。逆に野党は全力で反対しようとする。問題は、そのやり方、です。

与党は、政策を国会に持ち込む前に党内で散々議論する。賛成でも反対でもはっきり意見を言える土壌は間違いなくある。そして議論するうちに政策は丸くなったり尖がったりしながら堅いものになり、最終的に党の案として決まる。一旦決まったらそれに従う。国会に送られたら文句は言わない。党内で意見を通せなかったことが力量不足だからです。ただし、党内で何が議論されたのか、政策の利点欠点を含めて、もっと国民に発信し、自民党が様々な視点をもっているということをご理解頂く努力が必要です。またそもそもこの党内議論のやり方に改善の余地はないのかも検討すべきです。

一方で野党は全力で政策を阻止しようとする。政策の中身ではなく、廃案ありきで日程を引き延ばそうとする。だから、スキャンダルなどの審議を永遠に要求し、応じないなら政策審議には応じない、などと脅す。政治倫理の追求は分離すべきです。

また、政策実行の陣頭指揮にあたるべき総理や閣僚が国会に縛り付けになる。例えばある年の総理は127日。イギリスは36日、フランスは12日、ドイツは11日です。このツケは大きい。国会での政府の説明は重要ですが、例えば会社の社長が年間3分の1も株主総会で説明しているのはどうみても異常です。恐らく株主は、会社に戻って仕事しろ、と言うでしょう。過去に何度もあった国会改革の機運が再度高まりつつあります。

■聞き手＝防衛省日報問題では苦労していましたね。

大野＝昨年も防衛省は日報問題で大きく揺れましたが、今年は財務省の公文書管理の問題が世間で大きく取り沙汰されている中でした。大臣から徹底調査を命じられましたが大変大きなプレッシャーでした。公文書管理は民主主義を支える重要な制度ですので、隠蔽なら大問題、しかし隠蔽じゃないなら自衛隊にとって屈辱以外の何物でもない。私としては、とにかく徹底調査して等身大の自衛隊を国民の皆様にご報告しようと思いました。結果的に隠蔽などはありませんでした。寸分の疑念も持たれないよう努力していかねばなりません。国民の理解あっての組織ですから。

■聞き手＝米朝会談をどのように見ていますか？

大野＝米朝会談は好意的に見ています。軍事が前面に出てくる流れは正常ではありません。そしてアメリカが外交交渉をしているわけですから、日本の外交当局は全力でそれを支えるべきです。ただし、防衛当局は手を抜くべきではない。米朝会談では、完全非核化、体制保証、当面制裁維持、交渉中の軍事演習中止、拉致問題の提起、金正恩の米国招待について話し合われました。我々は、完全で検証可能かつ不可逆な形で、あらゆるタイプの大量破壊兵器の放棄、しかも口約束だけではなく行動を伴ったものを求めていますが、現在、履行の兆候は見られませんし、完全な履行には相当な時間がかかるものと思います。そしてその間、

大野敬太郎 profile

facebook LinkedIn Instagram

大野敬太郎WEB
http://keitaro-ohno.com/

≪略歴≫昭和43年11月1日生まれ。さる年さそり座O型。丸亀在住・本籍豊浜。座右の銘は先憂後楽。好きな作家は塩野七生と司馬遼太郎。好物は子供の好きそうな食べ物。坂出附属中(ブラバン)・丸亀高校(テニス・器械体操)・東京工大卒・同大学院修士修了、後に東京大学博士号取得。富士通研究所、米カリフォルニア大学バークレー校客員フェロー、東京大学産学官連携研究員などを経て、想いを持って政治の世界に。大臣秘書官や議員秘書を経て自民党衆議院議員候補者公募に応募。自民党香川3区支部長就任。2012年の第46回総選挙にて初当選。現在当選3回。

≪現在≫防衛大臣政務官。衆議院では安全保障委員会に所属。

≪これまで≫財務金融・産業政策・科学技術イノベーション・知的財産・宇宙開発・航空政策・農業・社会的事業など多くの政策立案に従事。議員連盟では、人口減少対策・農村基盤整備議連ため池小委員会・和の住まい議連・保険議連、証券議連、サービサー議連等の事務局を、また議員外交は、フランス・イスラエル・ヨルダン・エルサルバドル・ドミニカ共和国・ベラルーシ議連などの事務局を務める。

事態がまた急変する可能性も否定できませんので、防衛当局は交渉に一喜一憂することはできません。

■聞き手＝災害対応もありました。

大野＝自ら被災経験のある小野寺大臣の指示を間近で見ていて学びの連続でした。視点が現場に根差していて指示が矢継ぎ早で具体的かつ的確なんです。

一方、地元選出議員としての取り組みは別です。地元香川も橋脚や石垣・道路や堤防の崩落がありました。被災直後に関係各所に働きかけを行い、着実な履行方法を詰めています。

ただ、被災した時の対応も重要ですが、被災しないように何をするかも重要です。香川でも、もう少し降雨が続いたら大被害となった可能性のある場所はあります。老朽化が進む国土交通インフラ。現状の予算推移では全く足りないことが分かっています。合理的かつ計画的に、効果的な予算執行で、着実に整備を進めていかねばなりません。新たな方策も必要です。

国際会議にて国際協調の為の意見交換を呼びかける大野支部長

瀬戸内海の島を巡る（内側は伊吹島の網元の皆様と）

安全保障委員会で答弁に挑む

小野寺大臣と西日本豪雨災害の対策会議

豪ターンブル首相・安倍総理と習志野演習場

小野寺大臣の記者会見

大野原・豊浜の仲間たちと

豊中の仲間たちと

山口県民の皆様へのご報告（TYS より）

豪ターンブル首相と帰投中のヘリ上で

自民党本部に来た「うどん脳」君と

善通寺の大先輩にご指導頂く

佐賀県民の皆様へのご報告（RKB より）

地元インフラ案件で国交省と打ち合わせ

加藤勝信厚生労働大臣と懇談

郷土丸亀の大先輩方と

大野敬太郎の活動に是非ご協力ください！

大野敬太郎 WEB http://keitaro-ohno.com/　facebook

ポスター・後援会新聞・運営資金などでガッツリとサポートしたい！

- ポスター掲示や新聞配布等につき、地域でお世話頂ける方を募集中です。
- ForumK の正規会員を下記の通り随時募集中です（入会申込書有り）。
  - 法人特別会員　一口月1万円
  - 法人会員　一口年5万円
  - 個人会員　一口年1万円
- ご協力賜れば誠に幸甚です。宜しくお願いします。詳しくは WEB か事務所にご一報下さい。スタッフがご相談に上がります。

政治や経済などに関する勉強会に参加しつつスマートにサポートしたい！

西讃地域は**太宝会**、中讃地域は**大志会**として、地域や日本のあるべき姿をご来場いただいた皆様と共に議論する会です。奮ってご入会ご参加ください。

- 開催:年 2 回（基本 7 月と 11 月）
- 懇親会付きの勉強会
- 年会費 1 万円
- 現在 100 人前後が参加（会員数約 500）
- 事務所までご連絡いただければ入会申込書をお届けします。

イベント情報や政治動向、大野の視点をタイムリーに知りスパっとサポートしたい！

時事問題や政治動向を大野独自の視点でいち早く不定期で皆様にメールニュースとしてお届けしております。入退会は自由で、もちろん無料です。ご関心のある方は是非お試し下さい。

お申し込みは、ご氏名（必須）、ご住所、会社名、メールアドレス（必須）を添えて、「メールニュース希望」と題して下記のアドレスまでメールにてご一報ください。

marugame@keitaro-ohno.com